



令和7年

# 新年賀謹

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より市政全般にわたり深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

新年にあたり、私が市長に就任以来目指してまいりました「魅力ある・誇れる神栖市」の実現に向け、市民の皆様が安全で安心して暮らせることが何より大切であると再認識し、市民の目線で市民との協働により、市政運営に全力で取り組む決意を、新たにしたところでございます。

昨年を振り返りますと、白十字総合病院の新しい回復期・慢性期病棟と鹿嶋ハートクリニックの増床及び病院化が完成し、救急の受け入れや循環器救急の拠点機能が大きく強化されるなど、地域医療における人材確保や医療機関の整備に長年力を入れて取り組んできた成果が、実を結びつつあると感じております。

また、新たに稼働しました鹿島共同可燃ごみクリーンセンターや大雨時に雨水を鹿島港へ排出する北公共

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。年頭にあたり、市議会を代表して謹んで新春のごあいさつを申し上げます。平素より市議会に対し、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年の市議会は、新人6人を含む23人の議員が選出され、私は、議員各位のご推挙により議長に就任したところでございます。身に余る光栄でありますとともに、その責任の重大さを改めて感じております。市民の皆様への市議会への特段のご理解とご協力を賜り、議会運営に精励できましたことについて、深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、パリオリンピック・パラリンピックにおける日本選手団や、アメリカメジャーリーグでの大谷翔平選手をはじめとする日本人選手の華々しい活躍は、我々に勇気と感動をもたらしてくれました。

埠頭1号雨水幹線、市営日の出町住宅など、市民の生活を支えるインフラが整備されたことで暮らしの質が向上し、浸水被害の軽減や地域防災力の強化が図られることとなりました。

本年は、神栖町と波崎町が合併し神栖市が誕生してから20年を迎える記念すべき年であります。記念式典の開催をはじめ、さまざまな記念イベントを通じ、市制施行20周年を意義あるものとして未来へつなげてまいりますので、市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

さらに、まちのにぎわいづくり事業の息栖神社周辺地域振興拠点施設が今年中にオープンする予定であり、息栖神社周辺の魅力を向上させることで、当市への新しい人の流れを創出し、地域活性化を図ってまいります。

その一方で、能登半島地震や線状降水帯による猛烈な豪雨など、全国各地で自然災害が頻発化・激甚化しており、住民の安心・安全な生活が脅かされる年でありました。被災地におきましては一日も早い復興と平穏な日常を取り戻せるよう、心からお祈り申し上げます。

このような中、市議会におきましては、大規模災害の発生時などに、議会業務を継続するための計画を定める議会業務継続計画(議会BCP)を策定するため、昨年より先進市への行政視察を行なうなど協議・検討を進めており、市議会においても災害に強い組織づくりを目指しております。

二元代表制の一翼を担う議会は、その果たすべき役割と責務がますます重要なものとなっております。私たちは、市民の皆様とのつながりを大切に、

ります。

これからも、子育て日本一のまちやスポーツツーリズムの推進、地場産業の育成や高速道路の延伸など、魅力あふれる神栖市を目指しながら、市民の皆様が安全安心と神栖市のさらなる発展に向け、全身全霊で市政運営に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、輝やかしい飛躍の年となりますことを祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

神栖市長

石田 進

より市民の声を施策に反映できるよう努めているところであります。

さらに、本年も主体的かつ持続的な議会改革を進め、議員政治倫理条例の見直しや党派制の導入、議会中継の改善、議会広報の充実など、一人でも多くの市民の皆様へ、議会に関心を持っていただけるよう、協議・検討を進めてまいります。今後、市民の皆様が信頼され、開かれた議会を目指し、さまざまな課題解決に全力で取り組んでまいります。

結びに、新しい年が、市民の皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことを心から祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

神栖市議会議長

額賀 優

